

- 台風が近づいている！
- 川の水がどんどん増えてきている！
- 自宅がハザードマップの浸水想定区域にある！

★ 安全に避難するためには・・・！

マイ・タイムラインの作成例

乳幼児がいる世帯の例

世帯構成
3人世帯【大人2人、乳幼児1人】

生活環境
自宅周辺は最大3メートルの浸水が想定される

※あくまで一例です。
自分用のマイ・タイムラインを作成するための参考としてご利用ください。

『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでのそなえをいつから行動するか、書いてみよう！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでのそなえが『マイ・タイムライン』だよ！

市・区・町・村	地区	家	マイ・タイムライン	作成年月日	年	月	日
そなえまでのおおよその両端	行政から発される情報 黒：気象・水害情報 青：河川管理者	「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで	<p>3日前</p> <p>○ 台風予報 ○ 台風に関する都道府県の気象情報(随時)</p> <p>「台風が発生」</p> <p>天気予報で台風ができてきてるよ。 また雨や風は強くないね。</p> <p>2日前</p> <p>◇大雨注意報・洪水注意報</p> <p>○ 台風に関する今後の見通し</p> <p>「台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる」</p> <p>雨や風が強くなる と、お出かけは大変だね。</p> <p>1日前</p> <p>◇大雨警報・洪水警報 (上流域での大雨特別警報)</p> <p>「雨が降まって、川の水がだんだん増える」</p> <p>自分がいるところで降ってなくても、土上で雨が降れば川の水は増えてくるよ。</p> <p>半日前</p> <p>水防団待機水位到達 氾濫注意水位到達</p> <p>「激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が溢れる」</p> <p>このまま進めると、川の水があられるかも。</p> <p>5時間前</p> <p>避難判断水位到達 氾濫警戒情報発表</p> <p>「川の水位がぐいっばいであられそう！」</p> <p>もうざりざり、川の水があられる前に、安全なところへ逃げなっしょ！</p> <p>3時間前</p> <p>警戒レベル3 高齢者等避難 氾濫危険水位到達 氾濫危険情報発表</p> <p>「避難しようよ」</p> <p>警戒レベル4 避難指示</p> <p>0時間</p> <p>氾濫が発生 氾濫発生情報 緊急連絡メール 氾濫が発生した情報</p> <p>「川の水が氾濫」</p> <p>川の水が一気に広がって、街中が水びたし、こうなると動けないぞ！</p>				
			<p>主な備え</p> <p>台風について調べ始める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報を見る ・ハザードマップを見てどこに避難するか確認する ・家族の今後の予定を調べておく ・紙おむつを買いに行く ・体温を測り、健康状態を確認する <p>避難する時に持っていくものを準備する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙おむつを持っていく ・乳幼児用の食料(液体ミルクなど)を持っていく ・マスクやアルコール消毒液、体温計、スリッパなどの衛生用品を持っていく <p>住んでいる所と上流の雨の量を調べる</p> <p>川の水位を調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップをみて、近くの川を確認する ・インターネットで「川の防災情報」(国土交通省HP)や「茨城県河川情報システム」(茨城県HP)を検索し、川の水位を確認する ・体温を測り、健康状態を確認する <p>避難しやすい服装に着替える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動きやすい靴をはく ・携帯電話の充電をする ・川の水位を調べる(再確認) <p>避難所の開設状況を確認する</p> <p>安全なところへ移動を始める</p> <p>避難完了</p> <p>・国のガイドラインでは、市町村による「高齢者等避難」の発令を、要配慮者が避難する段階としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクを着けて避難しましょう。 	<p>避難所に乳幼児向けの生活必需品が十分に備蓄してあるかわかりません。自分たちでも用意しておきましょう。</p> <p>川によっては国のHP(ホームページ)か県のHP(ホームページ)のどちらかでしか見られないことがあります。普段から確認しておくことが重要です。</p> <p>・台風が接近すると、雨や風がより強くなります。乳幼児を連れて避難する場合、大雨や強風を避けるため、早い段階で避難することも考えましょう。</p> <p>・乳幼児や障害のある方など(要配慮者)を対象とした福祉避難所を積極的に整備している市町村もあります。乳幼児がいる家庭では、近くに福祉避難所があるか、福祉避難所ではどのような物資を備蓄しているかなど、平常時から確認しておく災害時にも慌てずに行動できます。</p> <p>・体調がすぐれない場合は、市町村や保健所などに相談しましょう。</p>			

市町村が発令する避難情報(警戒レベル3)です。

ハザード内に住んでいる方のうち、高齢者等で避難に時間がかかる方は早めに避難しましょう。

市町村が発令する避難情報(警戒レベル4)です。

ハザード内に住んでいる方は原則として、全員が安全な指定緊急避難場所や親せき宅などへの避難、又は2階以上に避難するなど身を守るための行動をとります。

※市町村が発令する避難情報はイメージであり、実際の洪水時とは異なる場合があります。

※あくまで一例です。災害はマイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません。防災行動の目安として考え、実際の災害時には気象情報や避難情報をこまめに確認し、適切に避難しましょう。